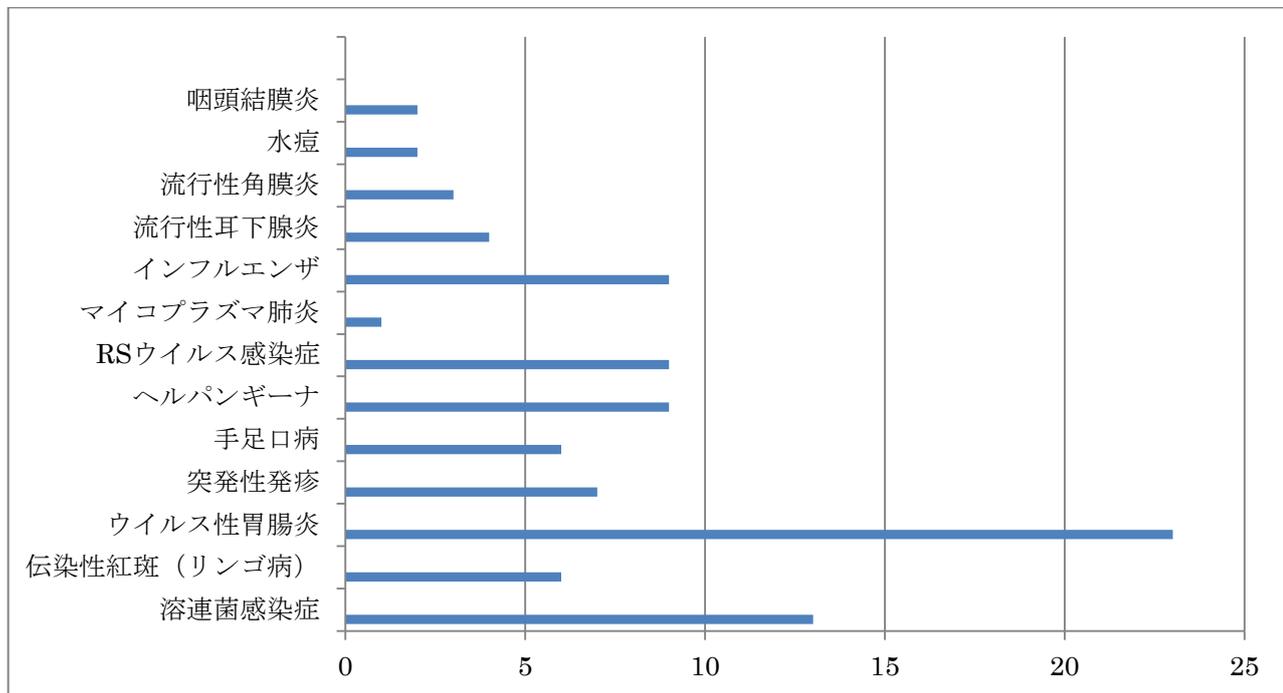


## ●平成28年度の病欠集計について

平成28年1月～平成28年12月の病欠集計より、内訳をまとめました。  
 (登園許可書・登園届より抜粋)



H28年度は、春は伝染性紅斑。夏は、ヘルパンギーナ・流行性結膜炎。秋から冬にかけては、ウイルス性胃腸炎・インフルエンザ・RSウイルス感染症の流行が見られました。溶連菌感染症は、季節を問わず発生がみられました。ウイルス性胃腸炎やインフルエンザは、感染力が非常に強いです。流行時期には、手洗い・換気・水分補給を十分にし、活動する室内では、消毒に力を入れております。

6月と2月におたふく風邪と水痘の発生がありました。おたふく風邪と水痘は予防接種で防げる病気です。1歳を迎えたら早めに接種しましょう。しっかり免疫をつけるためには、2回の接種が望ましいです。他にもまだお済みでない予防接種がありましたら、母子手帳で確認し、体調の良い時に接種しましょう。

罹患後の登園の際には、集団生活に適応できる状態に回復してからの登園であるようご配慮下さい。尚、病院受診をした際には受診結果をお知らせ下さい。感染症対策の為にもご協力お願い致します。

その他の病欠結果については半数以上が風邪症状(熱・咳・鼻汁)によるものでした。感染予防の基本は手洗い・うがいです。十分な睡眠と栄養バランスのとれた食事でも病気に負けない体にしていきましょう。

MRの予防接種について

感染力が強く重症化しやすい麻疹や風疹を防ぐためには、MRワクチンの2回接種が効果的です。予防接種はお済みでしょうか?1歳から2歳までに第1期、小学校入学前の1年間の間に行う第2期、計2回のMRワクチンは定期接種として無料で接種できます。集団生活の中で『予防接種は感染症を防ぐ最も有効な手段』となります。予防接種を受けられていない方は接種をお願い致します。